

---

岐阜県立大垣東高等学校

校 長 田中 彰

学校住所 大垣市美和町1784 電話 0584-81-2331

---

- 1 会議の名称 岐阜県立大垣東高等学校学校評議員会（第1回）
- 2 会議の構成 委 員 今西 寿彦 地域住民代表（欠席）  
小宅 清実 地域住民代表  
高橋 利行 岐阜協立大学副学長  
古田 三十子 地域住民代表  
安田 洋一 大垣青年会議所理事長（代理出席）  
（委員名は五十音順）  
賛助会員 堀田 一浩 大垣市立南中学校校長  
三木 智紀 大垣東高等学校学校育友会長  
学校職員 田中 彰 校長  
河添 孝司 教頭  
川瀬 和仁 教頭  
河田 禎彦 事務長  
服部 久美子 総務部長  
横山 浩明 教務部長  
高橋 雅久 進路指導部長  
吉田 順一 生徒指導部長  
奥村 誠 特活部長  
柴田 仁志 理数科教育推進部長  
中島 弘二 総務部
- 3 会議の目的 地域住民や企業、大学等の関係者から広く意見や要望を聞き、地域から信頼される学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 令和元年度5月16日（木）13:00～15:00 本校校長室  
委員4人、賛助会員2人、学校側11人が出席  
13:00 ～ 13:10 日程説明  
13:10 ～ 14:00 授業参観  
14:10 ～ 15:00 会議  
(1) 学校より説明  
(2) 学校諸評議員からの感想・意見

## 5 会議の概要

### (1) 本年度の教育活動について(学校説明)

学校側	(ア) 授業について
	(イ) 進路指導について
	(ウ) 生徒指導について
	(エ) 特別活動について
	(オ) 理数科について
	(カ) マニフェストについて

### (2) 授業参観の感想

感想1	生徒さんが活動される教室が狭く感じられて、気の毒に思いました。圧迫感がありました。国語の授業ですが、生徒の読み上げの音が小さいなと感じました。分割の授業では教室は広々とゆったりとしていました。
感想2	私は本校の卒業生です。久しぶりに授業を見学しました。生徒は本当に真摯に授業を受けられておりましたが、やはり教室は窮屈かなと感じました。空調等の環境面を管理して、その上で学習させるといいのではないかと思います。 プロジェクターを用いて授業をされていましたが、黒板に写すと見にくいかなと感じました。
感想3	私も教室が狭いと思いました。ICT 導入で黒板が変わっても、授業自体はあまり変わらないのではと思います。中学校では大型モニターやデジタル教科書を用いていますが、日常的に用いるのは難しいのが現状だと思います。 英語の授業が工夫されていました。普通は朗読には CD などを用いると思いますが、自ら英語を話して指導されていた点が、印象に残りました。 やはり生徒の実態に応じた授業が必要なのかなと感じました。
感想4	授業では私語もなく、生徒は一生懸命受けていました。少人数クラスでは目の行き届いた指導でした。教室がこれほど狭かったかなという印象でした。 目標をもつことで壁を乗り越えることができると思います。健康管理も大切で、睡眠時間を十分とってほしいです。3年間頑張って卒業してほしいです。
感想5	教室の後ろの方の子が窮屈そうだなと感じました。授業に関しては自分の高校時代と比べて、生徒が積極的に活動されているなと思いました。-googleアースなどの教材なども活用されていて、新しい授業でした。
感想6	どのクラスも主体的に学びに集中していました。整った授業でした。指導が丁寧で、資料に工夫が見られました。これからの教育は自主的な学びが必要だと思います。 (学校) 1年生をみると活発な生徒が多いです。その分、節度ある行動に気を付けるように指導しています。 掃除なども前向きにやっています。自分から掃除場所を見つけ、また役割分担を生徒の側で行っています。

(学校)

部活動加入は今年度より希望制となっています。部活動は有意義な活動ですので、今年の新入生には部活動加入について、1時間ほどオリエンテーションを行い、入部を勧めました。現在のところほぼ100パーセントが部活動に参加していて、中でも運動系が多いです。ゴールデンウィーク明けの現在も活発に活動しています。なお、参加していない生徒は外部の団体で活動しています。

### (3) 学校の取組について

質問1

ゴールデンウィーク明けの生徒の様子はどうでしたか？

(学校)

心配はしていましたが、連休中にも部活動があり、そこで生徒との触れ合いがありました。休業中の課題もほぼ提出されています。今後は、つまずきの見受けられる生徒に丁寧に指導を心掛けていきます。

質問2

働き方改革についてはどのような状況でしょうか。

(学校)

業務に関しては、教員が残業せずに帰ることにより、仕事をもち帰る可能性も出てきます。それでは個人情報管理の問題が生じるとともに、業務を効率化したとはいえません。効率化を工夫しながら進めたいと考えています。

また、教員志望の学生が少なくなっているようです。これは学校がブラック企業に近いものとしてとらえられているためと思われる。一方で、熱心に授業研究を行っている教員も多くいますので、そのような姿を教員志望の学生の方に見てほしいと思います。

意見1

現場の教員が生き生きとやっていることによって、教員のなり手が多くなるのではないかと思います。自分の会社もブラックな業界と言われていましたが、社員が生き生きと働いていることによって、入社希望者が増えています。

意見2

中学校でも、残業をする教員が多く、すぐに働き方改革を実現するのは難しい状況です。教員志望の実習生も、岐阜県より待遇の良い他県の採用試験を受けています。今後それに対する工夫も必要だと思えます。

## 6 会議のまとめ

本日は貴重なご感想、ご意見をいただき、ありがとうございました。今後の教育活動に活かしていきたいと思えます。また今後の予定ですが、9月の初めに学校祭がございます。案内をお送りしますので、是非ご来場ください。また次回の学校評議員会は年明けの1月の開催を予定しております。